
朝のメールと出荷の予定は、
担当AIが毎朝6時に1枚にまとめ、
追加の注文には返信の下書きも付ける。
社長は回し先を決めるだけ

AIエージェントの動き方の一例（見本：架空の農業法人）

株式会社SeKnAck

見本の農園・取引先・メール・記録は架空です。見本のため、返信の下書きは作っただけで、どなたにも送っていません

メール・予定表・やる事を別々に見て照らし合わせるため、畑に出る前の朝の確認に時間がかかる

野菜の生産と出荷をする農業法人で、朝の確認に起きること（見本の農園の例・2026年10月16日の朝）

	1 見る物が別々の場所にある	2 メールと予定を照らす手間	3 足りない時の回し先の判断								
起きていること	■ メールは受信箱、出荷は予定表、作業はやる事の一覧、天気は予報と、朝に見る物が別々 ■ 今朝はメール12通・予定表14行・やる事10件	■ 「集荷を15時から14時に早めたい」「種と苗が入荷した」などのメールは、予定表ややる事と照らさないと影響が分からない ■ 今日は14時ごろから雨の予報	■ 取引先2社から、今日のトマトの追加の注文が合わせて9ケース届いている ■ 余りは5ケースで、全部には応えられない <table><tr><td>今日のトマト</td><td>ケース</td></tr><tr><td>収穫の見込み</td><td>40</td></tr><tr><td>出荷の予定</td><td>35</td></tr><tr><td>追加の注文</td><td>9</td></tr></table>	今日のトマト	ケース	収穫の見込み	40	出荷の予定	35	追加の注文	9
今日のトマト	ケース										
収穫の見込み	40										
出荷の予定	35										
追加の注文	9										
そのため	➤ 畑に出る前の確認に時間がかかる	➤ 予定の変更に気づくのが遅れやすい	➤ 社長が決めるまで、返事と出荷の予定が決まらない								

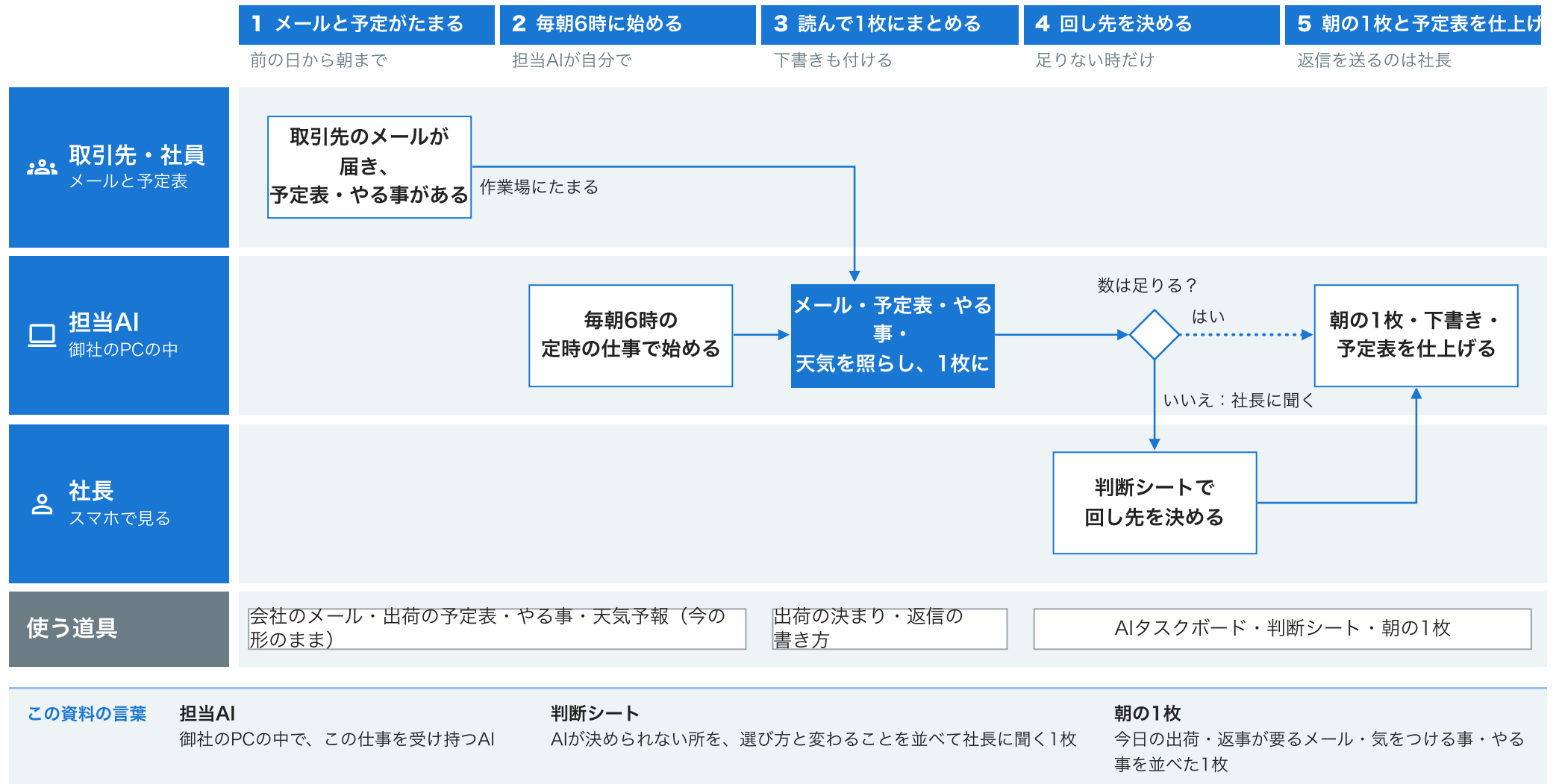
注：数は見本の受信箱・出荷予定表・やる事の一覧・収穫の見込みから。メールは前回のまとめ（昨日の6時）の後に届いた物です

全体の流れ

社長は朝の1枚を見て回し先を決めるだけで、 メール・予定表・やる事を読んで照らし合わせる所は担当AIが引き受ける

メールが届いてから朝の1枚ができるまで（見本：架空の農園）

— 実線：今回の流れ 点線：足りる時 ◇ ひし形：判定 ■ 主役の仕事



注：番号は次のページから説明する順。毎朝6時の起動は、導入の時に当社が設定します（見本の撮影では、同じ頼み方を看板から送りました）。取引先へ返信を送るのは社長で、担当AIは送りません

出所：見本の作業場の担当AIの手順（見本の農園は架空）

1 毎朝読む

毎朝6時、担当AIはメール・出荷の予定表・やる事・天気予報を読み、メールに分ける印を付ける

担当AIが読む画面（左・中。見本の練習用の受信箱と農園の画面）と、読む物（右）

1 会社の受信箱



2 出荷の予定表



毎朝6時に担当AIが読む物	今回の見本で分かったこと
■ 会社のメール ➢ 前回のまとめ（昨日の6時）の後に届いた物を読み、分ける印を付ける	12通（追加の注文2・返事要る5・知らせ5）
■ 出荷の予定表 ➢ 今日の出荷先・品目・数・便	14行（出荷先7か所）
■ やる事の一覧 ➢ 今日の時間・作業・担当	10件
■ 天気予報と収穫の見込み ➢ 今日と明日の天気、今日のトマトの見込み	晴れのち雨（14時ごろから雨）・トマト40ケース

社長が何かを開く必要はありません。メール・予定表・やる事は、今の形のまま使います

注：数は朝の1枚の「読んだ物」と同じ。印を付けるのは受信箱の中だけで、メールは送りません。見本のため、返信の下書きは作っただけで、どなたにも送っていません

出所：見本の作業場で、担当AIの「朝の一日のまとめ」（2026年10月16日）を実際に動かした結果（見本の農園・取引先・メール・記録は架空）

2 照らし合わせる

担当AIはメールを予定表・やる事・天気と照らし、
集荷が早まる・雨が来る影響を、変更の案として朝の1枚に書く

今朝のメール・予定表・やる事・天気を照らした結果（2026年10月16日の朝。「なし」は関係しない所）

照らして見た所

朝の1枚に書いた所

	メール	出荷の予定表	やる事	天気予報	朝の1枚に書いた案	結果
見る物	届いた知らせ	今日の便と数	今日の時間	雨と風	変更の案・決める所	
集荷の分の積み込み ひがし運送	集荷を15時→14時に	集荷15:00	13:00～14:30	14時ごろから雨	12:30～13:45 に早める	変更の案
小松菜の種まき ひがし農材	種と苗が入荷	なし	13:00～14:00（入荷待ち）	14時ごろから雨	朝に店頭で受け取り、雨の前にかく	変更の案
ハウスの側窓を閉める	なし	なし	16:30	雨・南の風がやや強い	13:30 に早める	変更の案
畑2の草刈り	なし	なし	14:00～16:00（雨なら延期）	14時ごろから雨	延期	変更の案
特売の数量の 相談 ひがしマート	今週の金曜までに相談	なし	今日中に決める	なし	同じ件として今日中に	気をつける 事
トマトの追加の 注文 ソーレ・やまびこ	合わせて9ケース	予定35ケース	なし	なし	見込み40 – 予定35 = 余り5	社長が 決める

3 足りない所

トマトは追加の注文に対して4ケース足りず、 どこへ回すかだけは、決まりで決められず社長が決める

今日のトマトの数（左）と、2件の追加の注文の中身（右）

■ 余りと追加の数 □ 足りない数

今日のトマト（ケース）

今日の収穫の見込み 40ケース

今日の出荷の予定 35ケース

余り ■ 5ケース

追加：トラットリア・ソーレ ■ 3ケース

追加：スーパーやまびこ ■ 6ケース

足りない ■ 4ケース

拡大：追加の注文2件（回し先は決まりで決まらない所）

ソーレの追加 今夜30名の宴会

ソーレの店 メニューに名前

やまびこの追加 チラシで売れている

返事の期限 9時ごろまで

今日の集荷 雨で14時に早まる

どちらの頼みも事情があり、出荷の決まりだけでは決められない。どこへ回すかは社長が決める

なぜ今決めるか

今日のトマトの追加の注文が2件（合わせて9ケース）届きましたが、今日回せるのは5ケースです。スーパーやまびこは9時ごろまでに返事がほしいと書いており、今日の集荷は雨のため14時に早まっています。回し先が決まると、返信の下書き2通と出荷の予定表を仕上げられます。

事実と未確認

分かっていること

- 今日のトマトの収穫の見込みは40ケース、出荷の予定は35ケース。余りは5ケース（収穫の見込み・出荷の予定表で確認）。
- トラットリア・ソーレ（松井さん）：今夜30名の貸し切りの宴会が急に決まり、今日の分に3ケース追加したい。いつもの便に間に合えば助かる。（昨夜22:50のメール）

担当AIは決めず、メールと取引先一覧の事実を並べて社長に聞く

注：見込みは収穫の見込み（前の日の夕方に数えた物）、予定は出荷の予定表の今日のトマトの合計。右の画面は判断シートの「なぜ今決めるか」と「事実と未確認」

出所：見本の作業場で、担当AIの「朝の一日のまとめ」（2026年10月16日）を実際に動かした結果（見本の農園・取引先・メール・記録は架空）

回し先は、取引先ごとに選ぶと変わることを並べた1枚で、社長が選ぶだけで済む

担当AIが作った判断シートのQ1（左）と、その中身の比べ（右。シートの選択肢・選ぶと変わること・おすすめの理由から）

1 社長のスマホに届くシート（Q1）

Q1 トマトの余り5ケースを、どこへ回すか

追加は合わせて9ケース、今日回せるのは5ケースで、4ケース足りません。

☒ A ソーレに3ケース・やまびこに2ケース。やまびこの残り4ケースは明日の便で出す

選ぶと変わること：ソーレは頼んだ3ケースが全部届く（今日5ケース）。やまびこは今日17ケース、明日の便で4ケース足す。明日の余り5ケースのうち4ケースを使う。やまびこには「今日は2ケース、残りは明日」と返す。

☐ B やまびこに5ケース。ソーレの追加はお断りする

選ぶと変わること：いちばん大きい取引先のやまびこに今日5ケース（残り1ケースは明日でも可）。ソーレには「今日は追加できない」と返すことになり、今夜の宴会のコースに響く。

☐ C 別案（下の窓に書く）

	案A 推奨・社長が選んだ ソーレに3・やまびこに2	案B やまびこに5	案C 別案
トラットリア・ソーレ	■ 頼んだ3ケースが全部届く（今日5ケース）	■ 「今日は追加できない」と返す	■ 書いていただいた分け方で
スーパーやまびこ	■ 今日17ケース、明日の便で4ケース足す	■ 今日5ケース（残り1ケースは明日でも可）	■ 同じく
返信の下書きと予定表	➢ 「今日は2ケース、残りは明日」と返す。明日の余り5ケースのうち4ケースを使う	➢ ソーレへはお断りの返信になる	➢ 下書き・予定表・朝の1枚を直す
判定	◎ ソーレの宴会は今夜なので明日では役に立たず、やまびこは週末のチラシの分なので明日の便でも間に合う	△ いちばん大きい取引先に多く回せるが、今夜の宴会のコースに響く	○ 社長の考える分け方で直せる

注：案Cは「別案（下の窓に書く）」で、選ぶと担当AIが書いていただいた分け方で直します。シートには、まだ分からないこと（明日の雨で収穫がどれだけ減るか等）も並べて聞きます

社長が答えると、朝の1枚・出荷の予定表・返信の下書きがその数でそろい、畑に出る前に今日の段取りが決まる

社長のスマホの画面（答えてから朝の1枚と予定表がそろうまで。順に1～3）

1 判断シートで答える

回答

選び終わったら「回答文を作る」を押し、「コピー」した文を、この依頼の看板のカードの会話欄に貼って送ってください（看板を使っていない時は、Claude の会話に送ってください）。別案を選んだ時は、下の窓に中身を書いてから作ってください。

回答文を作る

コピー

最初に戻す

Q1 A

このあと行うこと

「回答文を作る」で「Q1 A」ができ、カードの会話欄に貼って送る

2 朝の1枚に決まりが入る

トマトの追加は、ソーレに3ケース・やまびこに今日2ケース（残り4ケースは明日の便）に決まりました。集荷は雨で14時に早まります。返信の下書き2通を確かめて送ってください。

社長が決めた事

トマトの余り5ケースを、どこへ回すか
 おすすめ：ソーレに3（今夜の宴会）・やまびこに2、やまびこの残り4は明日の便で。
 返信の下書き2通は、このおすすめの数で受信箱に置いてあります。

決まり：A：ソーレに3ケース・やまびこに今日2ケース。やまびこの残り4ケースは明日10月17日（土）の便で出す

天気

ソーレに3ケース、やまびこに今日2ケース。残り4ケースは明日の便

3 出荷の予定表に3行

定期（火・金）

カフェこもれば

小松菜

5 束

定期（火・金）

ひがし運送 集荷14:00

出荷先

品目

数量

スーパーやまびこ ひがし店

追加（10/16 朝 大西社長の判断） 返信は下書き

トマト

2 ケース

トラットリア・ソーレ

追加（10/16 朝 大西社長の判断） 返信は下書き

トマト

3 ケース

収穫の見込み

品目

場所

見込み

トマト

前の日の夕方に田中さんが数えた（1ケース4kg）

ハウス1・2

40 ケース

なす

畑1

7 箱

ピーマン

ハウス3

8 箱

今日の集荷14:00の便に2行、明日の便に1行。返信の下書き2通も、この数で置いてある

注：時間の目安：手作業で約45分の朝の確認とまとめが、確認の約5分になります（見本の条件での試算。担当AIの作業は約3分（見本の撮影で実測）、手作業はメール1通2分×12通＋予定表・やる事の確認1件30秒×24件＋下書き1通5分×2通で計算）。見本のため、返信の下書きは作っただけで、どなたにも送っていません

出荷の予定表とやる事の一覧は一例で、配送や工事の予定、現場の段取りなど、今お使いの予定に合わせて作り直せる

今回の見本で使った物と、御社に合わせて置き換えられる物

□ 今回の例 ■ 置き換えられる物



ここでお見せしたのは一例です。「ここをこう変えたい」をお聞かせください。

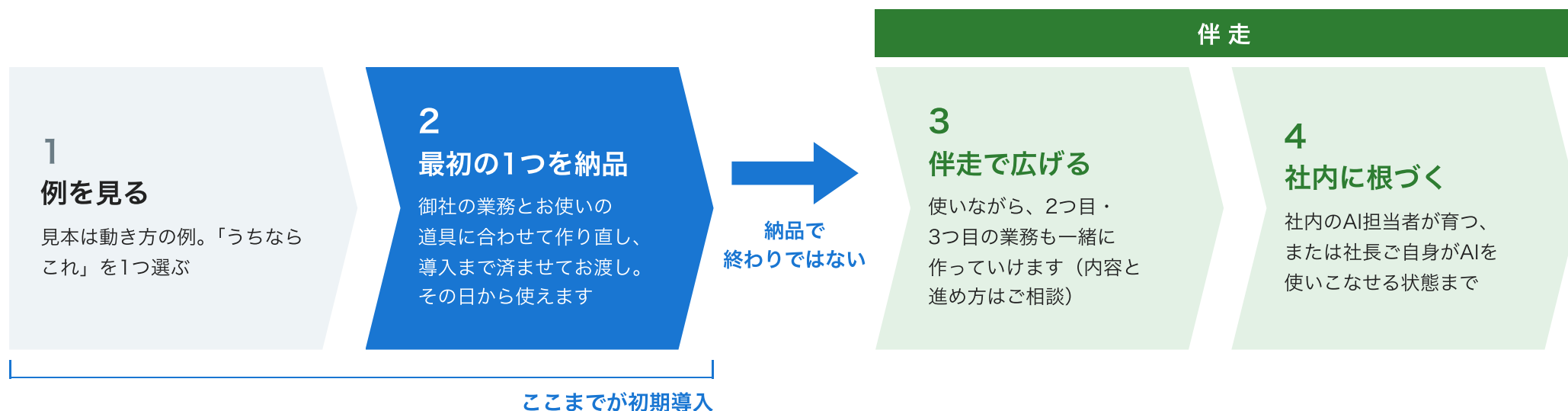
注：右の列は置き換えの例です。毎朝、メールと予定を見てから動き出す業種（配送・工事・店舗など）で同じ形が使えます。実際にどれを使うかは、お話を伺ってから決めます

導入とその先

最初の1つを使える状態で納品し、その先は伴走で一緒に広げていく

最初の1つの納品から社内に根づくまでの4段と、お問い合わせ先

納品までと、その先の伴走



お問い合わせ先

資料のご請求・お問い合わせ

ai-setup@seknack.com

株式会社SeKnAck

注：伴走の内容と進め方は、ご相談のうえ決めます。

出所：株式会社SeKnAck（このページまでの画面と数字は見本の作業場の物。見本の農園・取引先・メール・記録は架空）